

受入れチーム等の紹介

民泊長野の宿には、熊本県少年男子ホッケーチーム監督、コーチ、選手合計十七名を受け入れました。熊本県代表と申しても、隣町感覚である小国高校の選手団であり、人口八千人の町です。

長野民泊協力会

会長 工藤 重信

民泊・調理の状況

選手は宿泊先の家庭から歩いて、同僚が宿泊している隣の宿泊家庭へお邪魔して、三〜四人で楽しくその家庭と交流を深めていました。調理については、ひとめぼれの新米を主食に品数豊富なおかずを口に頬張って美味しそうに食べ、特にご飯のお代わりは遠慮なく出して、たくさん食べてもらえて良かったです。

盛り上がった送別会

送別会では、雨の中でテント二

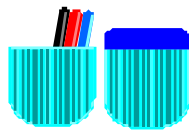


張りし、その中で大型焼肉セットを用意し豊後牛でもてなしました。その後、公民館の中では、地元アマチュアバンドによるギター演奏がはじまり、監督や選手のリクエストで曲に乗って歌いだし、最高に盛り上がったコンサートとなりました。

民泊協力会と選手団が一体となり楽しさを増し、親しみを覚える交流ができたことで、国体が終わっても、これから選手たちとの付き合いが始まりそうです。

標語「おもてなし」の紹介

お いさんも おばさんもみなづれぢ
も りあがっち
て をつないぢ
な かよくわになっち
し あわせになろうえ



熊本頑張れ！
頑張れ！



公民館での和気あいあいの様子と、送別会で盛り上がった、コンサートでのギター演奏

